

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	6-2											
PDCA	主要事業名	情報公開・個人情報保護事務	部課名	総務部総務課	担当	横井											
					内線	246											
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 118 千円 会計 一般会計 歳出科目 02.01. 12. 12. 01					目標項目（予算計上時に作成）  予算見積書で活用											
	事業概要等	事業概要： 半田市情報公開条例の規定に基づき行政の透明化を図るとともに、個人情報の保護に関する法律及び半田市個人情報安全管理規程に基づき個人の権利利益を保護する。また「半田市情報公開・個人情報保護審査会」の運営を行う。															
		事業目的： 法令等に基づき、行政の透明化を図るとともに、個人の権利利益を保護していく。															
		事業内容： 法令等に基づき、行政文書の開示、自己情報の開示等を行う。「半田市情報公開・個人情報保護審査会」の運営を行う。															
		問題点・課題等： 膨大な資料請求への対応や、課独自の判断で情報開示しないと主張するケースに苦慮する事案がある。また、職員の個人情報漏えいに対する意識が低いと感じる時がある。															
	予算額	主要事業とする理由															
	118 千円	個人情報保護制度、情報公開制度は、行政の情報管理に対する市民の関心を受け止め、透明性を確保するうえで重要な制度となっているため。															
	財源内訳	得られる成果															
	市費	市民の知る権利を保障するとともに、個人の権利権益を保護することにつながる。															
	118 千円																
	国費																
	0 千円																
県費																	
0 千円																	
その他																	
0 千円																	
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果															
	0 千円	情報公開請求については、情報公開・個人情報保護審査会に諮問する案件は無く、適正かつ迅速に対応することができた。市の保有する個人情報管理状況の自己点検及び外部監査等を徹底したことで、漏えい事故を2年連続0件とし、個人情報を適正に管理できた。															
		成果指標 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">個人情報等漏えい事故件数</td> <td>実績値</td> <td>0</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>0</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>							令和4年度	単位	個人情報等漏えい事故件数	実績値	0	件	目標値	0	件
			令和4年度	単位													
	個人情報等漏えい事故件数	実績値	0	件													
		目標値	0	件													
	C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b>														
			個人情報保護の管理責任者である課等長により、所管課の個人情報管理状況に係る自己点検を行った。くわえて、特定個人情報（マイナンバー）を取り扱う課等に対しては外部監査人による監査を実施した。 また、全職員向けの個人情報保護研修を継続実施しつつ、管理責任者たる課等長の意識向上を重点的にはかっていく必要がある。														
			<b>改善推進</b>														
			令和5年4月からは改正個人情報保護法が自治体にも施行適用されているが、管理体制等は施行前に大きく変わるものではなく、法に基づく適切な運用を今後もはかる。管理職による自己点検や特定個人情報の監査を継続し、個人情報保護が適切にはかれる体制づくりに取り組んでいく。また、研修機会の拡充も含めて、組織としての一層の意識向上や管理体制の強化をはかる。														
	A 後の課題の方向性	今後の事業の方向性															
観点別評価		必要性		有効性		効率性											
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	減余地	ない									
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担											
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	適正化余地		-									
主要施策の成果報告書で活用						評価項目（決算時に作成）											